2学年通信 ノーベル賞特集号

ダイナマイトの発明者として知られるアルフレッド・ノーベルの遺言に従って創設され、物理学、化学、 生理学・医学、文学、平和および経済学の「5分野 + 1分野」で人類に対して大きな貢献をした人物に贈られる賞である。受賞者へは賞状とメダルと賞金(約1億円)が与えられる。賞金はノーベルの遺産を運用して得た利益を原資としている。

ノーベル賞は10月6日から発表され、生理学・医学賞を坂口志文大阪大学特任教授が、化学賞を北川進京都大学副学長が受賞しました。これで日本人のノーベル賞受賞者は30名となりました。

分野別受賞者数

物理学賞	12名
化学賞	9名
生理学・医学賞	6名
文学賞	2名
平和賞	1名

1949年湯川秀樹が日本人初のノーベル物理学賞を受賞してから76年かけて30名が受賞しています。2001年以降の受賞者は21名で、アメリカの90名に続く世界第2位となっています。アメリカは、海外生まれでもアメリカ国籍を取得した多くの学者を擁していて、カウントが国籍ベースのため、獲得数が多くなっているようです。例えば、2017年ノーベル文学賞受賞のカズオ・イシグロ氏は日本出生ですが、日本人受賞者には計上されていません。また、日本人はまだ経済学賞を受賞していません。

出身大学别受賞者数

出身大学別受賞者数は、今年2名が追加されたため、京都大学が東京大学を抜いて1位となりました。自然科学分野のみでカウントしてみます。東京大学の9名のうち、文学賞は2名、平和賞は1名ですから、自然科学分野は6名となります。京都大学は自然科学分野のみの受賞です。また、益川敏英(名古屋大学卒)、小林誠(名古屋大学卒)、山中伸弥(神戸大学卒)の3氏は、それぞれ元京都大学基礎物理学研究所長、元京都大学理学部助手、京都大学iPS細胞研究所名誉所長なので、京都大学ゆかりの者も加えれば京都大学13名と東京大学を圧倒しています。大学名を見て気が付いた人もいると思いますが、不思議なことに私立大学出身者は1人もいません。すべて国立大学出身者です。

出身高校を調べてみると、ほとんどが地方公立高校です。例外は江崎玲於奈(私立同志社高校)、野依良治(私立灘高校)の2名のみです。東京大学や京都大学の合格者ランキング上位にいるような高校出身者はいません。「周囲に勉強して

京都大学	10名
東京大学	9名
名古屋大学	3名
北海道大学	1名
東北大学	1名
東京科学大学	1名
山梨大学	1名
埼玉大学	1名
神戸大学	1名
徳島大学	1名
長崎大学	1名

いる人がたくさんいるから、自分もやろう。」「コスパ・タイパの良い学習法を取り入れて受験勉強を乗り切ろう。」という風に、誰かを真似ているだけの人は、誰も到達したことが無い場所に辿り着くことはできません。"なぜそうなるのか"という好奇心に従って、とことん考えるという学習方法を実践している者のみがノーベル賞に手が届くのでしょう。皆さんは地方公立高校の足利高校に在籍していますので、ノーベル賞を受賞するチャンスがあります。周囲に惑わされることなく、自らの頭と手を働かせて学業に邁進して下さい。